

# 大和川地区 地域づくりプラン

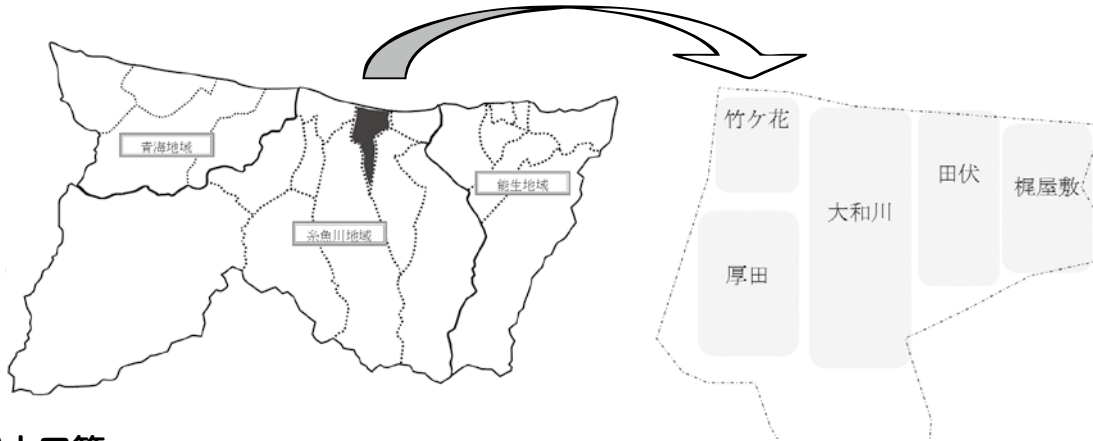


大和川地区振興協議会

# 大和川地区の概要

## (1)位置及び集落数

糸魚川市中心部東部に位置する地区で、5集落(梶屋敷、田伏、大和川、竹ヶ花、厚田)によって構成されています。



## (2)人口等

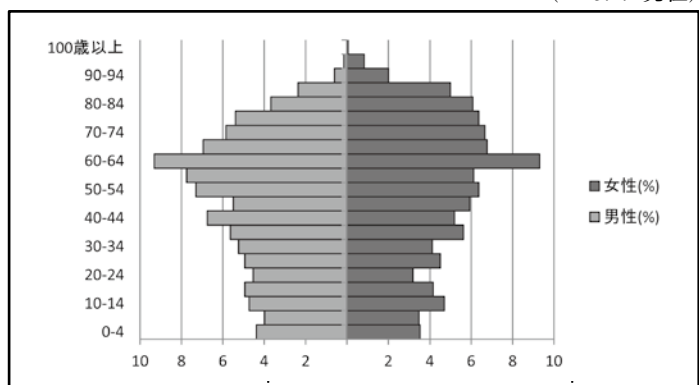
### 人口及び世帯数

(H25.4.1現在)

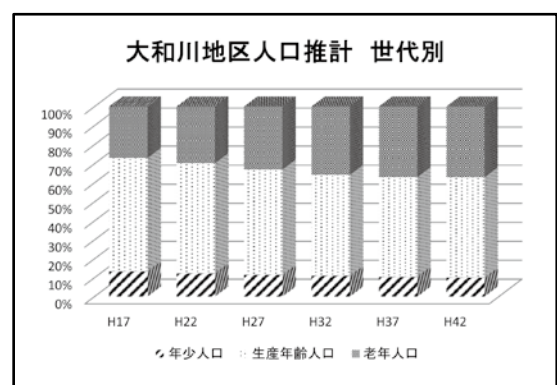
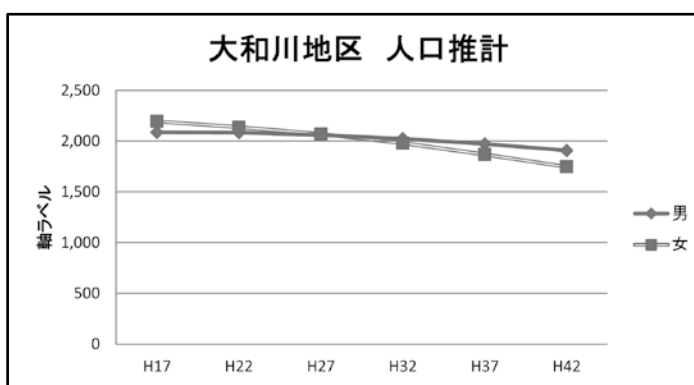
| 集落名 | 世帯数   | 人口(高齢化率)       |
|-----|-------|----------------|
| 梶屋敷 | 272   | 786 (34.73%)   |
| 田 伏 | 352   | 996 (28.82%)   |
| 大和川 | 450   | 1,292 (27.71%) |
| 竹ヶ花 | 130   | 365 (29.32%)   |
| 厚 田 | 213   | 587 (27.26%)   |
| 計   | 1,417 | 4,026 (29.43%) |

### 大和川地区人口ピラミッド

(H25.4.1現在)



### 人口推計(H17、H22国勢調査を基にした推計値)



### 地区内の主な特性

- ・市指定文化財「金山城跡、田伏浜砂鉄製錬遺跡」 ・田伏祇園祭り
- ・梶屋敷奴道中 ・東山からみる北陸新幹線の景観
- ・森林公園から見る星空と鳥のわたり ・森林公園高ノ峯プラトー
- ・大和川海水浴場 ・糸魚川総合病院 ・特別養護老人ホームクレイドルやけやま
- ・梶屋敷駅 ・障害者支援施設エスポアールはやかわ

## 1 地域づくりプラン策定趣旨

大和川地区では、大和川地区振興協議会を中心に、地域の現状を踏まえてこれからの大和川地区が進むべき路を探るため、地域づくりプランの策定に取り組んできました。

振興協議会内に各区長をはじめ、地域活動に積極的に関わっている人や関心を持つ人などでプラン策定ワーキングチームを組織し、計11回にわたる会議で検討を進めてきました。

地域づくり活動は、一朝一夕でできることではありません。第一歩のこのプランは地域づくりのコースを設定した段階であり、多くの人や団体等が協力し、計画・実行することで、活動の質や継続性を高め、充実させることができると考えております。これはとても重要なことで、しかも難しいことでもあります。

しかし、これらの活動が推進されるとその先には地区全体の暮らしの質の向上が展望されます。他人事ではなく自分のこととして、大和川地区の全員が積極的に参加し、意欲的に取り組んで参りたいと考えています。



## 2 地域づくりの基本方針及び計画期間

活動に際しては、市の地域づくり活動支援事業の助成を受けながら、大和川地区振興協議会が主体となり、事業を実施する各団体等と連携、協力するなかで進めていきます。

本プランは、平成26年度から平成30年度の5カ年を活動期間としており、活動の状況をふまえて、3年目(28年度)に事業費等の見直しを行います。

## 3 地区の現状及び課題

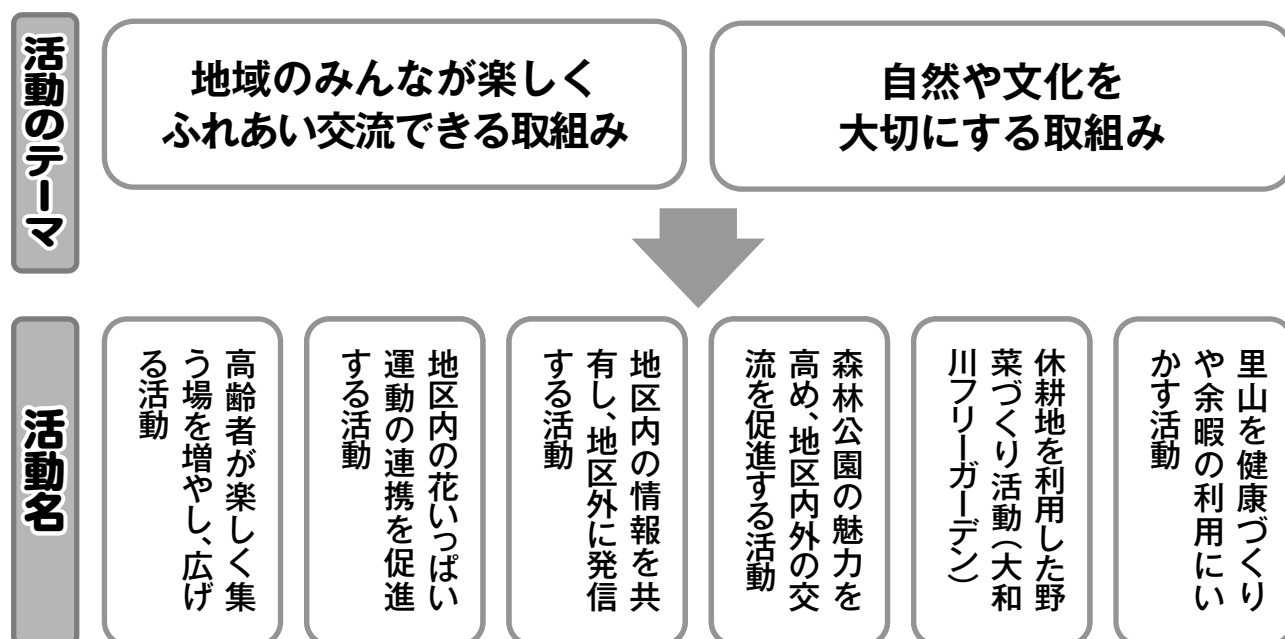
ワーキングチームのメンバーが感じている大和川地区のいいところ、改善していきたいところの一部を紹介します。

|             | 大和川のいいところ                                                          | 改善していきたいところ                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 産 業         | 農業を行う田畑が多い。                                                        | 農業後継者の不足と耕作放棄地の拡大。<br>雇用環境がない                    |
| 自 然<br>環 境  | 海、山、川と自然環境に恵まれ、動植物が多く自生している。<br>森林公園キャンプ場が近くにある。                   | ジオパークがない。                                        |
| 生 活<br>環 境  | 生活に必要な施設（買い物、病院、銀行等）が地区内にある。                                       | 車で移動する際の駐車場が手狭。<br>賑わっている場所がない。                  |
| 生涯学習・<br>文化 | 地区体育祭を始め運動に関する事業やスポーツ活動団体が活発。（バスケット、野球等）<br>祇園祭を始めとした文化活動が維持されている。 | 文化活動が推進されていないのか、動きがあまり見えてこない。                    |
| 地 区         | 集落単位での活動は活発に行われている。                                                | 大和川地区全体の活動が見えづらく、一体感を感じられない。                     |
| 人           | 責任を果たすための努力を惜しまない人が多い。<br>子どもは素直で明るい子が多く、高齢者は多くの知識と経験を蓄えている。       | 成人者が忙しすぎて、地域の活動に参加しづらい。<br>子どもも若者も昔に比べて少なくなってきた。 |

#### 4 大和川地区の将来像と目標



#### 5 地域づくりの方針と方策



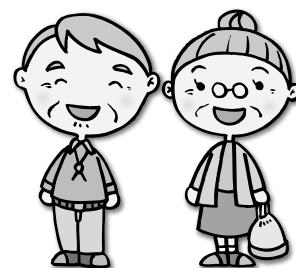
#### 6 個別事業計画

様々な活動案がありましたが、大和川地区振興協議会では、次の事業に重点をおいて推進することとしました。

##### 地域活性化に向けた取組み

##### (1) 高齢者が楽しく集う場を増やし、広げる活動

**現 状** 各地区の老人会活動、社会福祉協議会の敬老会、一人暮らし招待会やボランティアによる高齢者サロンなどが行われているが、参加者が限られている。障害のある人や消極的な人は参加したくても敷居が高いと感じられている。他との関わりだけでなく、日常の生活に不便や悩みを抱えている人は多い。





- ね が い** 高齢者が孤立しないで、周りの人とのつながりを持ち、日々、安心してらせる地域であり続けたい。
- 期 間** 平成26年度～平成30年度
- 内 容**
  - 高齢者サロン(月曜サロン)の拡充
  - 高齢者アンケート(高齢者の困りごと、できることの聴取)の実施
  - 福祉ボランティア組織の創設と活動の実施
- 関係団体** 各自治会、各地区老人クラブ、大和川月曜サロン運営者、社会福祉協議会、包括支援センター等
- 

## (2)地区内の花いっぱい運動の連携を促進する活動

- 現 状** 地区内には、目的もなく放置され、有害植物やごみのたまり場になっている場所が増えてきた。いくつかの場所では、自治会やコミュニティ団体が花いっぱい運動等に取り組み、道行く人の目を楽しませており、身近な場所は綺麗であってほしいとねがう区民は多い。反面、作業や管理の負担が大きく関わろうとする人は減少傾向にある。
- ね が い** 自分達の住んでいる地域をみんなできれいにしたいという気持ちを持ち、「大和川は花がきれいに咲いているね」と感じてもらえるようにしたい。
- 期 間** 平成26年度～平成30年度
- 内 容**
  - 地区内の花いっぱい運動団体の目的の共有と協力
  - 運動参加者の拡大と作業に関わる支援
  - 花に関するイベント(コンテスト等)の実施
- 関係団体** 各自治会、花いっぱい運動実施団体(地区公民館、保育園、学校等)等
- 



## (3) 地区内の情報を共有し、地区外に発信する活動

- 現 状** 地区にあるいろいろなモノやコトが知られていないことが多い。それぞれの集落等で行われている行事もその区だけのものになっている。最近は集落間が交流する動きも見受けられる。地区内から地区外へも大和川地区を発信していくことが求められる。
- ね が い** 大和川の良さを地域外にも発信して、他との交流を活発にすることで、地域を見直し、さらなる発展を図ることができるようにしたい。
- 期 間** 平成26年度～平成30年度
- 内 容**
  - イベント情報の収集及び広報誌等での発信
  - 地域マップや大和川地区案内看板の作成
  - 情報収集力の向上のための地区内ネットワークの構築
  - ホームページの設置検討
- 関係団体** 各自治会、地区公民館、写真クラブ等
- 



## 地域資源活用の取組み

### (1)森林公園の魅力高め、地区内外の交流を促進する活動

**現 状** 青少年人口の減少や野外活動に対する要求の変化に伴って利用者が減少している。施設の老朽化により改修の必要性があるが、利用収入も限られており、公園の維持が厳しい状況になっている。長く親しんできた公園維持のため、地区をあげてこの危機をどう乗り切っていくかが問われている。

**ね が い** 大和川森林公園の特色を掘り起こし、市内外の人たちが気軽に訪れ、自然の中での体験を通して心身をリフレッシュできる公園として愛されてほしい。

**期 間** 平成26年度～平成30年度

**内 容** (森林公園の利用促進)

- こどもキャンプの拡充及び活動に関連する設備等の改修
- 森林公園イベントの拡充

(森林公園の活用検討委員会の創設)

- 森林公園の未来構想の策定
- 専門家を交えた森林活用のための諸整備の検討

**関係団体** 各自治会、大和川おやじクラブ、大和川区森林公園委員会、大和川生産森林組合等



### (2)休耕地を利用した野菜づくり活動(大和川フリーガーデン)

**現 状** 産業構造の変化で第一次産業(農業)が激減して、地域には使われなくなった農地が散在している。農業経験のある人が高齢化してくるにつれて、野菜栽培をする家庭も減少し、若い世代に野菜づくりなどの知識や技術も伝えられていない。反面、生きがいをもって野菜栽培に取り組み、収入増を目指して頑張っている人もいる。

**ね が い** 地域にある農地をいかし、一緒に汗を流して野菜づくりに取り組む人を増やし、更に収穫物が地域の人たちの生活に役立つようにしたい。

**期 間** 平成26年度～平成30年度

**内 容**

- 野菜栽培のノウハウの講習会の開催
- 栽培実習会の開催(休耕地及び耕作希望者の確保)
- 収穫野菜を利用した料理講習会、試食会の開催
- 収穫農産物の交換や販売、活用(地域ビジネス等)の検討

**関係団体** 各自治会、ひすい農協大和川支店、農地所有者、大和川小学校等



### (3)里山を健康づくりや余暇の利用にいかす活動(金山城跡～東山、桜ヶ丘)

**現 状** 大和川地区を俯瞰する里山には、戦国時代の城跡や信仰の対象だった社や石仏などが古くからの人々の暮らしを伝えている。また、里山の自然には、ササユリやバイカモなどの特長ある植物、小さな流れの水辺にはホタルも飛び交う。そして里山に上れば、日本海に沈む夕日、そして来年の開通を待つ新幹線の市内地上部が全て見渡せる。この里山を巡るハイキングコースが、次第に整備され、区民ハイキングやホタル祭りなども行われている。

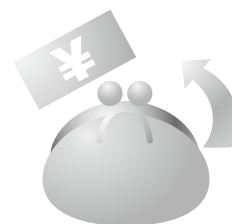
**ね が い** 安全ですばらしい展望や多様な植物の観察が可能なハイキングロードとして、たくさんの人から楽しんでもらい、体力づくりに役立ててほしい。

**期 間** 平成26年度～平成30年度

**内 容**

- 里山ハイキングやホタル祭りの拡充
- 散策ルートの策定・諸整備
- 里山パンフレットの作成

**関係団体** 各自治会、田伏生産森林組合、大和川生産森林組合等



## 7 年度別事業予算

26年度から2年間は計画している活動を推進し、28年度以降は活動の経過を踏まえて事業費の見直しを行います。

○収 入

(単位：千円)

| 費 目         | 26年度  | 27年度  | 28年度    | 29年度 | 30年度 | 合 計   |
|-------------|-------|-------|---------|------|------|-------|
| 地域づくり活動支援事業 | 1,425 | 1,670 | 事業費の見直し |      |      | 3,095 |
| 自 己 財 源     | 100   | 100   |         |      |      | 200   |
| 合 計         | 1,525 | 1,770 |         |      |      | 3,295 |

○支 出

(単位：千円)

| 事業、活動名                          | 26年度  | 27年度  | 28年度    | 29年度 | 30年度 | 合 計   |
|---------------------------------|-------|-------|---------|------|------|-------|
| 高齢者が楽しく集う場を増やし<br>広げる活動         | 55    | 95    | 事業費の見直し |      |      | 150   |
| 地区内の花いっぱい運動の連<br>携を促進する活動       | 20    | 20    |         |      |      | 40    |
| 地区内の情報を共有し、地区<br>外に発信する活動       | 200   | 220   |         |      |      | 420   |
| 森林公園の魅力を高め、地区<br>内外の交流を促進する活動   | 400   | 330   |         |      |      | 730   |
| 休耕地を利用した野菜づくり活<br>動(大和川フリーガーデン) | 310   | 680   |         |      |      | 990   |
| 里山を健康づくりや余暇の利用<br>にいかす活動        | 340   | 225   |         |      |      | 565   |
| 全体管理費                           | 200   | 200   |         |      |      | 400   |
| 合 計                             | 1,525 | 1,770 |         |      |      | 3,295 |

## 8 活動推進体制

活動を推進するため、地区振興協議会内に“地域づくり活動推進本部”を設置します。本部には、活動を実施する部会を設け、団体間の連絡調整や調査研究等を行いながら、大和川地区全体の振興対策を推進します。



～人と人の関わりを大切にし、喜びを分かち合えるまちを目指して～

**大和川地区振興協議会**  
**大和川地区地域づくりプラン策定ワーキングチーム**

住所 〒941-0007 新潟県糸魚川市大和川6346-1 大和川地区公民館内  
電話 025-552-3101 (FAX兼) E-mail/ wako@city.itoigawa.niigata.jp